

「年内の実現」を目指す

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2024年3月25日(月)
 NO. 1462号
 本号3頁

憲法会議 第59回全国総会を開催

憲法会議は、「結成から60年のたたかいを受け継ぎ、憲法学習運動、署名宣伝活動を草の根から広げにひろげ、共同を強め、改憲、安保3文書具体化反対、大軍拡、大増税を阻止しよう！」と第59回全国総会を23日、全労連会館で開催しました。会場参加とオンライン参加併用で開催し、会場参加13団体19人・個人6人の25人、オンライン参加12団体13人・個人1人の13人と、合わせて38人が参加しました。

憲法会議は1965年3月6日、末川博、鈴木安蔵、田畑忍ら憲法学者や、大西良慶（清水寺貫主）、羽仁説子（評論家）、平塚らいてう（女性解放運動家）など各界著名人33氏のおよびかけで、日本国憲法の蹂躪に反対し、民主的自由をまもり、平和的・民主的条項を完全に実施させ、憲法の改悪を阻止することを目的として結成されました。そして、59年間たたかい続け、来年年3月6日に60年を迎えます。

今、岸田政権は、敵基地攻撃能力の保有、自衛隊基地の地下化・強靱化、南西諸島へのミサイル配備強化など、2022年12月閣議決定された安保3文書の具体化がすすめられ「戦争国家」づくりを強行しています。また、異常な物価高、能登半島地震等で大変な国民生活、そして裏金問題で国民の厳しい批判のもとでも、岸田首相は自民党総裁任期中の9月までの憲法改正に意欲を示しています。岸田悪政が様々な側面で憲法破壊につながっています。

それに対する憲法を守りいかすたたかいを憲法運動の中心に据えてたたかうことが重要になっています。今国民は、「裏金で汚れた手で憲法をいじるな」、「国民が望まない改憲策動をやめ憲法が生きる政治の実現を」との声を上げています。

2024年は、大軍拡・大増税、そして憲法改正が狙われる極めて危険な年。改憲阻止、大軍拡阻止、そして国民の生活と権利を守る正念場となる年のたたかいをどう進めるのか、新たな方針を確立する場として、第59回総会が開催されました。

次号から、数回にわたって報告します。



汚れた手で、憲法に触れるな!

衆院憲法審査会幹事懇談会 21日に開催予定も開かせず

衆議院憲法審査会は21日に幹事懇談会を開く予定でしたが、立憲と共産党が出席せず開かれませんでした。立憲が自民の政治資金をめぐる問題で、関係議員の説明が不十分なままでは議論できないと主張しているのに対し、自民などは憲法の議論とは別だとして、審査会の開催を呼びかけていくことになりました。

衆議院憲法審査会をめぐるのは、自民党や日本維新の会などが早期の開催を求めているのに対し、立憲民主党は審査会の委員の中に自民党の派閥の政治資金パーティーをめぐる問題の関係議員がおり、説明が不十分なままでは議論できないなどと主張し、調整が続いています。

こうした中、自民党の森審査会長の判断で21日に幹事懇談会を開くことを決めていましたが、立憲は「与党側と日程協議を続ける中で、森会長が開催を決めたことは認められない」として出席せず、幹事懇談会は開かれませんでした。

これを受けて、自民・公明両党と維新の会の幹事らが対応を協議し、政治資金をめぐる問題と憲法の議論は別だとして、立憲民主党に対し、3月28日の審査会の開催に応じるよう呼びかけていくことで一致しました。

与党側筆頭幹事 自民 中谷元防衛相 “別問題”

衆議院憲法審査会で与党側の筆頭幹事を務める自民党の中谷元防衛大臣は、記者団に対し「政治資金をめぐる問題は大事で、政治倫理審査会や予算委員会などでしっかり議論すべきだが、憲法審査会は憲法のあり方を議論するための場であり、別問題だ。このまま、ずるずるいくと国会の会期もあり、結局、議論できなくなってしまう。時間つぶしによって憲法議論ができないというのは、おかしいことだと国民に分かってもらいたい」と述べました。

野党筆頭幹事候補逢坂氏 「当面は憲法審で協議ができる状況にはない」

衆議院憲法審査会で、野党側の筆頭幹事に就任する予定の、立憲民主党の逢坂代表代行は、記者団に対し「与党側の筆頭幹事と日程協議を続けてきたが、きょうの幹事懇談会が職権でセットされ、承服できないので欠席する。不記載があった議員に、その総額と『裏金』を何に使ったのかきちんと説明してもらいたいと申し上げており、自民党が少しでも誠意ある対応を見せてくれば、審査会の開催に向けて、われわれも努力したいと思っている。自民党みずから協議を断ち切ったので、来週28日の審査会の開催の話はありえない」と述べました。さらに、朝日は「当面は憲法審で協議ができる状況にはない」とも語ったと報じています。

憲法審幹事 維新 馬場代表 “審査会欠席 国民がどう思うか”

衆議院憲法審査会の幹事を務める日本維新の会の馬場代表は、党の代議士会で、「来週の審査会で、立憲民主党の新しい幹事を決めるため、きょう幹事懇談会を行う予定だったが当事者が出てこなかった。自民党も憲法改正の発議をやる覚悟をしているのであれば突き進むべきだ。立憲民主党や共産党が審査会に出てこないのであれば、その姿を何度も繰り返し国民に見てもらい、どう思うか世論に訴えていくしかない」と述べました。

公明党 北側副代表 “開けない全く理由がない” 石井幹事長は慎重な姿勢を示す

衆議院憲法審査会の幹事を務める公明党の北側副代表は、記者会見で「ほかの委員会では法案審議なども行われている。政治とカネの問題があるから憲法審査会を開けないというのは、全く理由がないと言わざるをえない。審査会を早く開けるようにさせてもらいたい」と述べました。

また、国民民主党の玉木代表は、党の代議士会で「立憲民主党は、自民党の『裏金議員』が委員にいるからだめだと主張しているようだが、それでは、ほかの委員会も全部開けなくなる。憲法にはいろいろな立場があるが、審査会を開いてしっかりと議論していくのが、これまでの伝統だった。政治とカネの問題は重要だが、それに絡めてボイコットするのは国民の理解が得られない」と述べました。

さらに、公明重鎮は今後の展開について「憲法審の開催を強行していくしかない」と述べと報じられています。一方で、公明党は党内で発言を組織し、バランスをとろうとしているのでしょうか。石井啓一幹事長は22日の記者会見で、岸田文雄首相が目指す今年9月までの自民党総裁任期中の憲法改正について、「簡単なことではない」と述べました。憲法改正は、衆参両院の3分の2以上の賛成によって発議され、国民投票で過半数の賛意が必要となる。石井氏は「非常に（多くの）手続きを要する」とした上で、「衆院は比較的議論が進んでいるが、参院での議論はまだまだこれからという状況だ」と慎重な姿勢を示しました。

運用面の不透明さ、懸念相次ぐ「経済安保身辺調査法案」

民間人を含め経済安全保障上の重要情報を扱う人の身辺を国が事前に調べる「セキュリティークリアランス（適性評価）制度」を導入する法案「重要経済安保情報の保護・活用に関する法案」が19日、衆院本会議で審議入りしました。制度をめぐっては、プライバシーの侵害につながる懸念が根強く、法案は廃案にしなければなりません。

岸田文雄首相は19日の衆院本会議で、法案の必要性を「安全保障の裾野が経済分野にも拡大するなか、国家・国民の安全を経済面から確保することは喫緊の課題だ」と強調しました。

この日は首相が自ら答弁に立ちました。政府・与党は今国会中の成立をめざすが、野党側からは、運用面の不透明さなどをめぐる懸念が示されました。特に指摘が相次いだのは、政府が保護の対象とする「重要経済安保情報」の範囲についてです。法案は保護の対象を、国が保有する情報のうち、重要なインフラや供給網について他国に流出すると安全保障に支障が及ぶおそれがあり、秘匿が必要なものを指定するとしています。電気や鉄道、通信などのインフラ、半導体や鉱物資源などの供給網を指すとされるが、法案には具体的に明記されていません。

そして、政府は情報漏洩に対し懲役5年以下などの罰則を設ける検討に入り、機密度が高い情報は、懲役10年以下の罰則を定める特定秘密保護法で規制するなど、重要度に応じた2段階の制度とする方針です。

また、適性評価制度は、防衛・外交・スパイ防止・テロ防止の4分野の情報保全を目的とした2014年施行の特定秘密保護法で導入されました。今国会に提出予定の「重要経済安保情報の保護及び活用に関する法案」（仮称）では、国が保有するサイバーや人工知能（AI）関連の情報を「重要経済安保情報」に指定。懲戒処分歴や借金の状況、配偶者の国籍を調べたうえで、情報を扱う認証を与えるとしています。

他国に流出すると安保上の影響がより大きい情報は特定秘密保護法で規制しています。政府は新法と特定秘密保護法を「シームレス（途切れのない、継ぎ目のない）に運用する」（岸田文雄首相）としています。特定秘密保護法の運用基準を変更し、経済安保の情報も対象になるよう解釈を拡大することを狙っています。我が国を「秘密」だらけの国にしようとしています。

「あまりにも低レベル」女性アイドルの制服姿で男性を縄で縛る

自民党埼玉県連の青年局に所属する県議らが2016年1月に「不適切なパーティー」を行っていたと、19日付の「週刊文春（電子版）」が報じました。報道によると、2016年1月5日に埼玉県蕨市内のバーで、女性アイドルグループの制服を模した衣装に身を包んだ男性が別の男性を縄で縛り、カラオケに興じていた。いずれも当時、自民党埼玉県連の青年局に所属する県議らで、その姿を撮影した写真が今回の報道で掲載されました。

こうした報道を受け、立憲の小沢一郎氏は「和歌山過激ダンスショーだけじゃない 自民党青年局の『SM緊縛パーティ写真』」と切り出し、「自民党青年局とは、一体何なのか？猥褻な乱痴気騒ぎをするための組織なのか？いい歳をしたおじさん達が、しかも公金でやることなのか。あまりに低レベル」と指摘しました。

その上で、同氏は、昨年11月に和歌山市で開催された自民党若手議員らの懇親会で起きた「過激ダンスショー」に続く醜聞に対して「自民党は隅々まで全てが駄目だという証し」との見解を示しました。

女性アイドルのコスプレ姿で縛っていた男性は当時青年局長だった党県議団の田村琢実団長で、同氏は今回の報道を受けて取材に応じ、問題視されている「公費支出」については「一切ない」と否定しています。